

令和4年度に実施した「上尾市脱炭素シナリオ検討調査」において設定した温室効果ガス削減目標では、業務部門は、基準年度（2013年度）比－62%と家庭部門に次いで削減幅が大きい部門となっており、上尾市役所としても一事業者として取組を進めていく必要がある。

具体的には、次の3つのステップに分け、それぞれのステップで行う施策を検討したい。

※現在、脱炭素検討会（6つのグループ）を設置し、担当レベルでの施策検討を行っている。

①啓発 ②施設 ③公用車・交通 ④緑地・田畑の活用、保全 ⑤適応策 ⑥ごみ減量

データ収集

- ・検証データの収集（消費電力調査）
- ・各公共施設の省エネ診断
- ・各公共施設の構造計算
- ・公用車の契約確認

施策の実施

※「*」が付いているものについては、市内での先行事例として実施するもの

【啓発】

- ・HP・SNS・YouTubeを活用した効果的な情報発信
- ・事業者向けプラットフォームの活用
- ・ハウスメーカー、家電量販店を活用した周知・啓発

【施設】

- ・太陽光発電（ソーラーカーポート、街路灯を含む。）、蓄電池の設置
- ・LED化の完全実施、オフサイトPPAの活用、断熱改修、高効率設備の更新

* 公共施設エリアエネルギーマネジメントシステム

* 地域マイクログリッド

【公用車・交通】

* EVカーシェアリングの実施

- ・公用車、ぐるっとくんのEV化の計画的実施
- ・移動手段の行動変容（自転車シェアリング・公共交通機関の利用促進等）

【緑地・田畑の活用・保全】

* 営農型太陽光発電の検討

- ・丸山公園の未整備区域の緑地の創出
- ・農作物の地産地消の実施

【適応策】

* 避難所（停電時）への電源供給（V2X、蓄電池、ポータブル電源）

- ・クールオアシスの周知、塩分タブレットの活用
- ・熱中症対策推奨品、日傘レンタル

【ごみ減量】

- ・給食残渣のバイオガス化（委託）
- ・庁内のペーパーレス化、グリーン購入の徹底

* プラスチックごみ分別の検討

フィードバック

- ・各施設実施状況によるデータの見える化
- ・毎年度の削減率の効果測定